

平成31年度

事業報告書

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団

## 平成31年度 事業報告書

### 【平成31年度の環境認識】

当財団は、平成元年10月設立後31年目を迎え公益移行後8年目が終了致しました。おもな日本のニュースとしては、平成の天皇陛下が4月30日に退位され、新たに皇太子徳仁親王殿下が5月1日第126代天皇に即位。5月1日より新元号は「令和」となり改元されました。また、消費税率が10月1日より8%から10%に引き上げられキャッシュレス決済を対象としたポイント還元制度の導入。さらに同じような時期に東日本の広い範囲で台風19号の大雨被害や死者が相次ぎ自然災害が続き、当財団は北海道新聞社福祉基金を通じて台風19号義援金の協力を行いました。

### 【基本方針】

当財団は、「すべての人が共に暮らし共に生きることがノーマル（正常）である」というノーマライゼーションの理念に基づき、高齢者や障がい者が安全で安心して暮らせる住生活環境の整備・向上を通して、すべての人が生きがいをもって生活できる社会造りと社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

## 〈事業報告〉

### I. 福祉住宅支援事業（公益目的事業1）

#### （1）助成金による福祉住宅建築支援

高齢者や障がい者が安心して快適に暮らすことのできる福祉住宅及び福祉小規模集合住宅（以下「福祉住宅」という）の向上・普及を目指す31年目の支援事業を継続し、取り組みを行いました。平成31年度の福祉住宅の建築助成として、新築及びリフォーム工事を施工した建築主を対象に建築助成（バリアフリー）の応募を受け付け建築助成事業に新築10件・リフォームが3件、福祉小規模集合住宅が新築2件・リフォーム1件と合計16件の応募申請がありました。菊地審査委員長をはじめとして、大阪理事、牧野理事、小西評議員の他、外部審査委員4名の計8名で、有識者による審査委員会において当財団建築助成選考基準に則り、厳正な審査の結果、予算総額300万円うち助成総額276万円（累計7,892万円）を助成金として送金を行いました。

#### （2）情報誌「ふれあい」の刊行

情報誌「ふれあい」は、福祉住宅助成建築主へ直接取材をさせて頂き、日常生活の現状や介護面に対して、新築の福祉住宅やバリアフリーにリフォームされた住宅を参考とし実例を数多く掲載、毎年継続し年1回の発行をしています。

情報誌「ふれあい」は賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く無料配布させて頂き、また、講演会やセミナーでの参考資料等に、あるいは病院・リハビリテーションの理学療法士の方々に資料として提供させて頂き数多くの皆様に役立たせて頂きました。その他、FMアップルの「バリアフリートーク」の中で、福祉住宅に関心がある視聴者の方に「リスナープレゼント」として「情報誌」及び「ふれあい総集編」を贈呈いたしました。平成31年度も、3,000部を発行し幅広く活用して頂きました。

## Ⅱ. ノーマライゼーション啓発事業（公益目的事業2）

### （1）小中学生による「安全・快適アイデア」コンテストの実施

平成31年度で24回目となったコンテストは、高齢者や障がい者が家庭はもとより外出先においても、快適な環境で生活ができることを目的として、全道の小中学生児童を対象に募集したところ小学校の部では6校（うち塾1含む）の応募数193名、中学校の部では12校491名の応募数があり合計684名（累計13,283名）応募者数の参加となりました。昨年より若干上回ったものの、小学生の応募が少なく、逆に中学生から数多い応募がありました。クラスを持つ担当の先生や美術担当の先生による協力が特に必要と思われれます。

以前と続く少子高齢化等により、小中学校の統合や廃校で児童生徒数が少なくなっている状況です。全道の小中学校には新学期が始まる時期にポスター・応募要項等が届く様行い、学校長・新任担当の先生に協力をお願いしています。平成31年度も審査委員長の大坂理事に2日間かけて第一審査を行って頂き、伊藤評議員の他、毎回審査をお願いしている菊地審査員はじめ外部審査委員4名の計7名の有識者による審査委員会を実施。「安全・快適アイデア」コンテストの選考審査基準に則り、厳正な審査の結果、68名の各賞を決定しました。

当財団ホームページや広報誌「ウィズライフ 第51号」と北海道新聞での新聞記事等による掲載、平成31年度は展示場所を変更し人通りが多く目立つ札幌地下街「オーロラプラザ」での3日間の展示、及び応募学校には入賞者結果発表報告を行い、より多くの人に啓発事業を知って頂くことができました。

### （2）広報誌「ウィズライフ（共に生きる）」の刊行

ノーマライゼーションを推進している人の対談やインタビューの他、福祉機器や設備など役立つ情報を紹介する同誌を年2回、計6,000部（2回×3,000部）発行しました。当財団の冊子「ふれあい」と同様、賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く配布行い、また、講演会での資料として参加者皆様に数多く役立つことができました。

平成 31 年度も前年度に引き続き「ウィズライフ (共に生きる) 第 49 号～第 50 号」で、「我らサポーター」のページに当財団の各役員理事に登場して頂き、日常の生活や業務などを開示しています。第 49 号の特集ページには、札幌市社会福祉協議会で各種のボランティア活動などの取材ノーマライゼーションの実践・支援をされている方々や、体験談や福祉事情の関連役立つ情報等を紹介しています。また、「明るいフクシ探検記」のページでは伊藤評議員がドイツ視察研修内容をイラストと掲載、とても理解しやすいレポートでした。

### Ⅲ. 福祉事情事業

(福祉事情の視察)

当財団が設立以来毎年実施していた福祉視察研修は、昨年まで積立てしていた「視察研修旅費準備金」の特定費用準備金を取崩し、昨年度にドイツ (ケルン・アーヘン) 海外研修を実施し経費が重なった為、平成 31 年度は残念ながら視察研修を取りやめ、次の視察先を検討します。

### Ⅳ. 拠出金・協賛金・セミナー事業

(福祉関連事業への取り組み)

諸団体と共に社会福祉に取り組む一環として、例年同様、平成 31 年度は「台風 19 号義援金」をはじめ、日本赤十字社への寄付、国境なき医師団、北海道難病連への募金、北海道盲導犬協会に寄付など数多く継続すると共に、難病支援ネットジャパンに協賛金等の支援寄付等行いました。毎年道内各地で行われている北海道新聞社主催の「マイホーム教室」では、川本理事に今後の福祉住宅や住環境のあり方について講演、及び札幌市社会福祉協議会主催・当財団後援のセミナー「住まいに求められるものとは」の講演をして頂き参考資料として冊子を提供いたしました。

### Ⅴ. その他

福祉住宅支援事業・ノーマライゼーション啓発事業を推進するため、公共の場所でのポスターの掲示や一般紙、地方紙、業界紙による紹介記事の掲載に努めるとともに、コミュニティラジオ「FM アップル」に出演し当財団の冊子を参考に「ノーマライゼーション住宅財団の事業について」紹介アピールしております。

### Ⅵ. 賛助会員及び寄付について

【平成 31 年度 賛助会員状況】

\* 令和 2 年 3 月末日現在 [個人会員 138 名・法人会員 55 社 計 193 名]

## 《 理事会 》

### \* 第 1 回 定時理事会

- 1、日 時 : 令和元年 5 月 15 日(水曜日) 午後 1 時から
- 2、場 所 : ホテル札幌ガーデンパレス 4 階 高砂の間  
札幌市中央区北 1 条西 6 丁目
- 3、決議事項 第 1 号議案 平成 30 年度事業報告の承認について  
第 2 号議案 平成 30 年度決算報告及び監査報告の承認について
- 4、報告事項 1. 「役員理事 伊藤小一氏及び菊地弘明氏及び土屋博子氏の 3 名  
ならびに監事 佐藤良雄氏が 6 月の定時評議員会をもって辞任の  
報告並びに後任理事候補者 2 名、監事候補者 1 名の原案説明及び  
推薦理由を報告  
2. 代表理事・副理事長の職務の執行の状況の報告

### \* 臨時理事会の書面決議【理事会の招集の決定】

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

「代表理事たる理事長、代表理事たる副理事長選定の係る提案」の件

(1) 理事会開催の日時及び場所

理事会を書面決議にて開催する。

(2) 議題、議案

代表理事たる理事長、代表理事たる副理事長選定

(1) 土屋 公三を代表理事たる理事長に選定する

(2) 土屋 昌三を代表理事たる副理事長に選定する

理事会の決議があったものとみなされた日

令和元年 6 月 20 日 (木曜日)

### \* 臨時理事会の書面決議【評議員会の招集の決定】

評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

令和 2 年度公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団評議員会の招集の決定

(1) 評議員会開催の日時及び場所

日時 : 令和 2 年 3 月 27 日 (金) 午後 1 時から

会場 : ホテル札幌ガーデンパレス 4 階 高砂の間

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

(2) 議案

第 1 号議案：平成 31 年度補正収支予算

第 2 号議案：令和 2 年度事業計画及び収支予算

(3) 報告事項

1、理事長・副理事長の職務の執行の状況の報告

理事会の決議があったものとみなされた日

令和 2 年 3 月 18 日（水曜日）

**\* 第 2 回 定時理事会の書面決議 【新型コロナウイルス感染症拡大防止につき】**

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

議案内容

(1) 決議事項

第 1 号議案 『平成 31 年度補正収支予算』について

第 2 号議案 『令和 2 年度事業計画及び収支予算』について

第 3 号議案 『令和 2 年度理事会・評議員会の招集』について

(2) 提案事項

\* 平成元年度評議員会の招集について

(提案内容)

決議省略の方法による評議員会の招集について

(1) 日時及び場所 定款 21 条により決議省略（書面決議）による方法

(2) 決議事項

第 1 号議案 平成 31 年度補正収支予算

第 2 号議案 令和 2 年度事業計画及び収支予算

**【報告事項】**

1、理事長・副理事長の職務の執行の状況の報告

2、第 24 回小中学生による「安全・快適アイデア」コンテスト結果報告

3、平成 31 年度「福祉住宅建築助成支援事業」結果報告

理事会の決議があったものとみなされた日

令和 2 年 3 月 18 日（水曜日）

## 《 評議員会 》

### \* 第1回 定時評議員会

- 1、日 時 令和元年6月7日(金曜日) 午後1時から
- 2、場 所 ホテル札幌ガーデンパレス 4階 高砂の間  
札幌市中央区北1条西6丁目

#### 3、決議事項

- 第1号議案『平成31年度事業報告及び決算報告及び監査報告』について
- 第2号議案『理事の任期満了及び辞任につきに伴う改選に関する』件について
- 第3号議案『監事辞任につきに伴う改選に関する』件について

#### 4、報告事項

- 第1号議案にて平成30年度事業報告含む

### \* 第2回 定時評議員会の書面決議【新型コロナウイルス感染症拡大防止につき】

評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

#### 議 案

#### (1) 提案事項

- \* 決議省略の方法による評議員会の招集について

#### (2) 決議事項

- 第1号議案 『令和元年度 補正収支予算について』の件
- 第2号議案 『令和2年度 事業計画及び収支予算について』の件

#### (3) 報告事項

- \* 理事長・副理事長の職務の執行の状況報告  
理事会の決議があったものとみなされた日  
令和2年3月24日(火曜日)

以上